

年組名前

空からの撮影や人が入れないような場所の調査、農業、物流（配達）、軍事利用など、さまざまな分野で幅広くドローンが使われるようになっていきます。あなたは、ドローンの利用について、どのように考えていますか。下の条件に合わせて書きましょう。

クマにドローンどう活用

今年も各地で出没が相次ぐクマへの対策として、ドローンの活用方法を探る検討会が、北秋田市の森吉山阿仁スキー場の駐車場で開かれた。県や市、北秋田署

など関係機関から10人が参加。さいがいげんば 災害現場で活躍する かつやく ドローンの飛行を実際に目にし、※こんせき 痕跡や被害の確認、 ひがい 緊急時の態勢などにどう活用できるか意見を交わした。

災害時のドローン派遣や
資格取得支援などを手がけ
る一般社団法人DEFU
S（デ・フラス、吉川文隆
代表理事）の主催。デ・フ
ラスは災害現場でのドロー

ンの活用と普及を進めてい
る。今回、クマ対策への活
用の可能性を探ろうと、※こ
たいさんさく個
体探索などの現地調査を実
施。その一環として検討会
を開いた。

検討会では、吉川代表理事が高性能カメラや温度を感知するサーモセンサを備えた機種と、物資輸送用の大型機、屋内など狭い場所でも使える小型機を紹介。実際に操作して上空から撮影した映像を画面に映し、機体の特徴や性能を説明して「スピーカーから音声を出し、警戒や避難を呼

びかけられる。追ひ^{はう}払いも
できるかもしれない」と話
した。

参加者による意見交換では、市街地への出沒対応に
関して「現状では民家の上
で飛ばすには法的制約があ
り、対応が難しい。農地の
見回りなど普段の備えには
有効」 「実際の運用には、
操縦できる人と機体の数が
ある程度必要。人材の育成
と確保が課題ではないか」
などの声が上がった。

※【痕跡】いんせき 過去に何かがあつたことを示す跡あと

※【主催】中心となって会やイベントなどを開くこと

※【こたいたんさく個体探索】動物などを探索すること

△秋田魁新報2025年6月17日付より。記事は手直ししています▽

条件

- ・ドローン利用の分野を一つにしばって書くこと。
- ・百字以上、百二十字以内にまとめて書くこと。
- ◆の印から書き始め、改行をしないで続けて書くこと。

題名

[illegible]